

## 視覚障害に応じた教材・教具

教科名	教材・教具名	対象児童生徒の状態
教科・領域 (保健体育)	ボール入れバスケット台	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">小</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">中</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">普</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">全盲</span> 、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">弱視</span>
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肘や肩を伸ばして高い位置の穴にボールを入れる。 (肩や肘の関節可動域を広げ、基本的な身体の動きを獲得する。)</li> </ul>	
制 作 方 法	<p>(1) 材料 5mm合板、45mm角角材、厚板(厚さ15mm、30mm) 止め金具(目ねじ等)、塩ビ製板保護材、保護用ネット、プラスチック製かご、すず、マラカス</p> <p>(2) 制作のポイント・工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足場の安定のために、底板に30mm厚板を用いた。</li> <li>・ 下の段のカゴには、ボールを上から落として入れたり、前から押して入れたりできるよう、開閉可能なふた型の穴をつける。</li> <li>・ ふた型の穴には、持ち上げることができる小さな取っ手を裏につける。</li> <li>・ カゴに入ったボールが外に飛び出ないように、上の段のカゴにはネットをかぶせる。</li> <li>・ ボールが入ったことがわかるように、上の段のカゴにはマラカス、下の段のカゴにはすずを、カゴの中につけ、ボールが触れると音が鳴るようにする。</li> </ul>	
使 い 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを入れる穴を手で触って、位置を確かめる。</li> <li>・ 適当な大きさのボールを持ち、高低それぞれの位置の板にあけてある穴に上から、或いは前から入れる。</li> <li>・ 高い位置の穴にボールを入れる時には、肘や肩を伸ばしたり、背伸びしたりする等、普段動かさない身体の部位も動かせるようにする。</li> <li>・ 一番下にボールを入れたカゴを置き、座位にて低い位置の板の穴に上からボールを入れることもできる。</li> </ul>	
改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の課題に応じて高い穴の位置をずらせるようにする。</li> <li>・ ボールが入った時に、すずやマラカスが大きく鳴るように位置を工夫する。</li> </ul>	

